

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.5

調査者	渡辺 伸一、井澤 和夫
情報ソースの刊行日	2020年4月16日
情報ソースの調査日	2020年4月19日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年4月22日
日本語タイトル	COVID-19 パンデミック:心臓リハビリテーションにはどのような影響がありますか？
情報ソース	Vigorito C, Faggiano P, Mureddu GF. COVID-19 pandemic: what consequences for cardiac rehabilitation? Monaldi Arch Chest Dis. 2020 Apr 16; 90(1).
情報のカテゴリー	急性期の心リハ、回復期の心リハ、生活期の心リハ（介護・福祉系を含む）、包括的心リハ
発信地域	ヨーロッパ（イタリア）
DOI	doi: 10.4081/monaldi.2020.1315.
URL	https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/32297490
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19 パンデミックは、すべての国の医療システムに大きな変化をもたらし、数十万人が死亡している。 医療従事者は、この緊急事態に対処すべく多大な努力を求められ、度々、感染したり、倒れたりしている。 心臓リハ（CR）の組織およびプログラムに長期的にわたり深刻な影響を及ぼす可能性がある。 CR は、この新しい課題に直面する準備を整える必要がある。 特に、基礎疾患が悪化した場合に、患者が循環器サービスを参照できるように患者を再教育する。 患者の機能的および予後の悪影響を可能な限り減らすべく、二次予防を維持する必要性を強化する。 CR ユニットは、感染者の隔離を含む、医療従事者、患者、連絡先、および親類のためのすべての保護を実装する必要がある。 心臓・肺の臨床的損傷に応じ、最良の行き先（家庭隔離・循環器病棟・COVID 病棟）を選択する準備ができている必要がある。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> CR の戦略とプログラムは、患者の特性に合わせて調整される。 住宅 CR 中に COVID-19 感染を発症する可能性は低い可能性がある患者への対処方法について示されている。